

第3回 都留文科大学教職実践研究会

集まる・つながる・語る・深める・追究する…教職という仕事・教育実践

期日：2023年8月11日(金*祝日「山の日」)～12日(土)

記念講演：宮下 聡 氏 元 都留文科大学 特任教授

テーマ 「憲法・子どもの権利条約が息づく教育と子どもの学び」
－勉強って何のためにするの…?という子どもの問いに向き合う－

会場：都留文科大学六号館/オンラインでの参加も可能です。

※オンラインの参加申し込みのあった方にZoomのURLをお送りします。

参加：都留文科大学関連…学生・専攻科生・大学院生・卒業後10年目程度までの教育関係者
都留文科大学以外…①大学卒業後10年目程度までの小中高等学校教員・教育関係者
②教職に関心のある大学生・専攻科生・大学院生都留文科大学教員・他



新棟 6号館

▼教員資格を取って学校現場に出ていくのは、学びのゴールではなくスタートという考えのもと、都留文科大学教職支援センターでは、教員になった卒業生の支援を行っています。それは卒業生を対象として全国各地で行う「教職支援交流会」と、大学教員や同窓生と共に教育実践について学び合う研究会「都留文科大学教職実践研究会」です。

▼この研究会には、都留文科大学関係者以外にも広く参加を呼びかけています。内容は①記念講演、②教師としての日常の交流、③レポートをもとにした授業や生徒指導実践学びあいの3つが柱です。全国の若い先生方の参加で日頃の教育実践を確かめあい学びあいます。そして大学における今日の教師教育の課題についても考えたいと思います。職場の同僚の方にも声をかけてください。多くの方の参加を待ちしています。



日程	8/11 (金祝)	13:00～13:30	13:30～13:50	13:50～14:50	15:00～17:00	17:15～18:45
		受付	開会全体会	記念講演 宮下 聡氏	研究会1(分科会) レポーターの報告と意見交換	全体交流会 参加者紹介
	8/12 (土)	09:30～11:30	研究会2(分散会) 参加者が教師としての日常を語り合う	11:30～12:00 閉会全体会 まとめと感想交流		

- 研究会1** 分科会 生徒理解・指導・授業づくり…希望するテーマの分科会に参加し分科会ごとに指定されたレポーターの報告を受けて意見交換します
①小学校(1年～3年) ②小学校(4年～6年)
③中学・高校 ④様々なニーズへの対応…日本語指導、不登校、特別支援教育…

研究会2 分散会(参加者が語る共有する全国の学校現場)無作為に分けたグループで交流します

その他：主催：都留文科大学(教職支援センター)

参加費無料/宿泊は各自でお手配ください。

※申し込みを希望している方は、右のQRコードから申し込んでください。

お問い合わせ先 (担当)阿部真一…E-mail shinichi-abe@tsuru.ac.jp

